

4章 教材編

ICE モデルを取り入れたツール、教材、指導法

本章では、ICE モデルに基づいて開発したツール、教材、指導法を紹介します。一定の学びのパターンや手続きの中に ICE モデルの考え方を組み込み、汎用性のあるツール、教材、指導法が生まれました。紹介するのは以下のツール、教材、指導法です。4章では、これらの背景や使い方、そして実際に試行してどうだったかを解説します。

1節 CanBeMap

与えられた情報から自由に問いを広げるための Ideas のツール。

2節 学びのテキスタイル

クラスメイトと一緒に洞察を深めることに着目した Connections のツール。

3節 コミュニケーションシート

生徒が大切だと感じていることや、疑問を引き出すための Connections のツール。

4節 how far の問い

「わかったつもり」に気づき、多角的な考え方を引き出す Extensions の指導法。

5節 新聞を読み質問力を磨く

新聞を読んで問いを立て、他者との議論を通じて社会を学ぶ問いづくりの指導法。

6節 イノベータの ICE ルーブリック表

イノベータに必要な資質、能力を ICE ルーブリックで捉えた指導・評価のツール。